

協働の景観まちづくり活動令和元年度 報告書

編集：みんなの景観なかしべつプロジェクト

発行：中標津町役場 建設水道部 都市住宅課 街づくり推進係

中標津町では平成29年に施行した「中標津町景観計画」の実践に向けて、協働の景観まちづくりを推進するために様々な活動を展開しています。

新元号となる令和元年度では、今後の景観まちづくりを担う任意団体「みんなの景観なかしべつプロジェクト」が発足し、景観整備機構の指定を目指して活動を実施しました。



任意団体「みんなの景観なかしべつプロジェクト」が発足！

● 設立総会の様子



● 任意団体「みんななか」設立の経緯

中標津の農業景観に価値を見出した取り組みは、昭和38年の開陽台の設置に端を発します。先達たちの取り組みから、私たちは「景観」という言葉が、単に絵はがきの写真のように美しいことを指すだけではないこと、目に見える景観を支える様々な仕組みや営みを理解するようになり、色々な立場の人との交流が生まれました。

これらの理念を継承しつつ、平成29年には、町民・活動団体・事業者・行政との協働の体制を見直し、まちづくり活動を経て景観を「守り、つくり、育てる」ことを具体的なイメージを育てて計画に盛り込んだ「中標津景観計画」策定しました。

私たちはこの景観計画が施行されてから今日までの足掛け3年間にわたって、景観法に明記されている良好な景観の保全・形成に関して様々な活動をする事ができる「景観整備機構」という地域の景観形成の担い手となる団体を想定とした「みんなのなかしべつプロジェクト」活動を続けてきました。

様々な課題に部会として取り組み、相互を結びつけ、参加者の思いが循環し、町民の皆さんと共有できる、そのような景観を活用したまちづくりを推進したいと考えました。そこで「みんなの景観なかしべつプロジェクト」を任意団体として設立することとし、令和元年9月3日、設立総会を開催しました。

● 現在進行する5つの部会

景観調査部会

「昭和初期の開拓景観」保存活用部会

なかしべつの色部会

景観学習部会

かぼちゃランタン部会

部会の紹介は裏面をご覧ください！



現在進行している部会の紹介

みななかでは、部会ごとの活動を行っています。現在、設置されている部会は以下の5つです。興味のある部会がありましたら、ぜひ一緒に活動しましょう！

●景観調査部会

関係団体と連携しながら、写真撮影などを用いて、中標津町の地形や開拓期の痕跡などから景観的特徴の調査を行います。

●「昭和初期の開拓景観」保存活用部会

桜ヶ丘周辺の開拓景観について、意見交換を行ったり、団体や行政機関と協力して保存活用を進めます。

●なかしべつの色部会

関連団体や専門家などと協力しながら、まち歩きや勉強会などを通して、中標津町の景観にふさわしい色を検討していきます。

●かぼちゃランタン部会

現在は主に計根別地区を中心として農業高校をはじめとする学校や地域住民でカボチャを育て、ハロウィンのランタンで地域の飾りつけを行います。

●景観学習部会

教育委員会と連携し、町内の小学生を対象として中標津町の地形や歴史、生態系などから、景観を学ぶ授業を実施しています。

景観調査部会

本部会では、農地や号線道路、防風林や河畔林などの「中標津らしい農業景観」の写真撮影を通して、沿道景観調査を行っています。この調査を通して、「農業地域の景観」の魅力を掘り起こし、「暮らしに必要なもの」が共存する景観のあり方を多くの人と考え、共有するために活用する写真をストックし、資料を作成します。



景観学習部会

町内の小学生に中標津の景観に対する理解とふるさとへの愛着の醸成を進めるため、平成21年度より「中標津らしい景観学習」のありかたを検討してきました。

本部会が実施を担った今年はずいぶん、町内の5校、つまり全小学校で授業を実施することができました。

授業にあたっては、なかしべつ町民活動ネットワーク(N-CAN)のみなさんにもお手伝いいただきました。

次年度以降も景観に対する理解を広める授業を続けます。

学校名	実施日
計根別学園	令和元年9月20日
中標津東小学校	令和元年10月28日
中標津丸山小学校	令和元年10月29日
中標津小学校	令和元年10月30日
中標津俵橋小学校	令和元年12月17日



本学習は、座学と3D地図と呼ぶ模型づくりを通して、中標津の農業地域の歴史と環境を45分の授業時間で学びます。格子状防風林や河畔林の違いや防風効果など、農業景観を幅広い視点から理解します。

かぼちゃランタン部会

計根別地区には計根別幼稚園から小中一貫校である計根別学園、そして中標津農業高等学校と教育機関が揃っており、また計根別農協や複数の地元企業もあるため、その特性を活かした景観まちづくり活動として、子どもからお年寄りまでが協働して取り組むことのできるハロウィンイベント「かぼちゃランタンづくり」を行っています。

植ええ・畑に植替え



かぼちゃの収穫



約460個
収穫！

ランタン加工



90人以上
の参加！

ランタン設置



「昭和初期の開拓景観」保存活用部会

町教育委員会、郷土館友の会、伝成館まちづくり協議会等と協働しながら、文化財の調査や発表などを行っています。9月15日に町教育委員会の主催で開催された「今も残る昭和初期の開拓景観を考える公開シンポジウム」では、みんなかメンバーも大活躍し、町民の皆さんからも具体的な意見がたくさん出ました。来年度は、昭和初期の開拓景観が残るエリア内で、耕地防風林や排根線や土塁、白樺並木の重要性などの調査ができればと考えています。

＜9月15日に開催した、今も残る昭和初期の開拓景観を考える公開シンポジウムより＞



講師による事例報告



グループワークの様子



中標津町の色を考える部会

昨年度実施した「なかしべつの夏の色を探そう！まち歩きワークショップ」などをもとに、なかしべつの景観色を考えていきます。

具体的な活動はこれからですが、景観に関わる色の勉強やほかのまちの景観色の考え方などを整理を進めています。

H31年度夏の色を探そう！まち歩きワークショップ



公・民・学連携の景観まちづくり学習会

景観と町民による活動を軸とした協働の景観まちづくりを推進するために、東京都練馬区みどりのまちづくりセンターでの活動経験があり、現在、福井県のアーバンデザインセンター坂井で活動をしている中島先生をお呼びして、まち全体の資源を活用したまちづくりについて学びました。

日時 令和元年8月24日（土）
18：00～20：10

18：00 開会
18：10 情報提供（根室振興局）
19：15 休憩
18：20 講演（中島先生）
19：20 意見交換会
19：55 閉会

中島 伸 先生
東京都市大学都市生活学部 講師
アーバンデザインセンター坂井
副センター長



◆練馬まちづくりセンターでは・・・

景観まちなみ協定締結・活動支援、ねりまの散歩道パンフレット作製、地域景観資源登録業務、撮り歩きワークショップ・ねりまの風景展 など

中標津町で歩く人を増やすにはどうすれば……

→福祉・保健分野と連携するといいかも！景観に限らず、歩くことに価値を見出そう！

◆アーバンデザインセンター坂井では・・・

公・民・学連携のまちづくり、空き家再生プロジェクト、三國湊まち歩きデジタルMAPの作製 など

中標津で学（大学など）と連携するにはどうすれば……

→魅力をPRすれば、大学側からアプローチがあるかも！？



フォーラム



平成29年4月に中標津町景観計画が施行されてから、さまざまな人たちが積み上げてきたなかしべつの景観まちづくりの取組を振り返りながら、これからの未来を創るための景観まちづくりを話し合うフォーラムとなりました。

2020年2月22日（土）

@中標津町交流センター

●プログラム

- 1.開会・挨拶
- 2.講演会「景観まちづくり
～魅力ある住み続けたいまちへ～」
東京都市大学 坂井 文 教授
- 3.中標津農業高校の活動報告
4. [みんなの景観なかしべつプロジェクト] 設立報告
- 5.グループでの活動報告と未来への話し合い
「未来を創る景観まちづくり」
- 6.閉会・挨拶

令和2年度からは…

令和2年1月23日付けでみんなかは、中標津町の景観形成団体に認定されました。来年度は5つの部会活動の他に、景観まちづくり勉強会（空き家対策を予定）や「とっておきの風景部会（仮称）」などの活動も検討しています。興味のある皆様、ぜひ一緒に活動しましょう。

Facebookではみんなかの活動や、中標津町の景観の取組みなどの情報を随時お伝えしています。ぜひチェックしてください！



みんなの景観なかしべつ
プロジェクトFacebook

これからも
みんなかの活動に
目が離せない！

